
テイルズオブミクリヤ～第二章～旅立ち

勇者

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テイルズオブミクリヤ〜第二章〜旅立ち

【Nコード】

N7342D

【作者名】

勇者

【あらすじ】

仲間達との出会い…村の皆の後押し…そしてこれから先のこんなんとは!？

(前書き)

多少グロテスクな表現が含まれます

『いや、しかしナズチさん…』

昌也は困った風によびかけた

『どうした？そんな声を出して？』

勇者ナズチも答える

『北のバーバリアンに西のグリーンゴブリン……それに…』

『東のハンターガーディアンか？』

昌也は困った顔をさらにしかめた

『いくらなんでも奴は…』

『ああ…俺に考えがある』

『考えって…』

昌也は心配している

『だからあんしんしな…ほら、着いたぞ』

するとそこには勇者たちの憩いの広場、居酒屋があった

『いらっしやい!……なんだナズチじゃねえか』

威勢よく酒を出していたのはこの居酒屋の親父、ケンクだった

『どうしたんだ?こんな時間に』

勇者ナズチは今までの事を手際よく説明した

『なるほどな…それで俺の所に来たわけだな!』

『来れるか?』

ケンクは顔をしかめた

それもそのはずだ、この季節…もうすぐ村の祭があり、居酒屋は一番忙しい

『悪いが店がなあ……と言いたい所だが、』

ケンクは店の厨房に向かい誰かを呼んだ

厨房から出てきたのはケンクの妹、カレンだった

ケンクはカレンに店を任せるようだ

『ようし話はまとまった』

『よかったのか？』

ナズチも心配だ

『大丈夫大丈夫』

『ならいいが……』

ケンクが仲間になった『あ！そつだそつだ。おーい近藤く！』

ケンクは店の厨房に向かい声をあげた

すると中から一人の少年が姿を現した

『どうしました？』

この近藤という少年は状況が理解できていないらしい、それもそのはずだが

『こいつも連れていくが大丈夫か？』

『あ…ああ、問題ない…』

『こいつは俺の直弟子だ！魔術なら俺以上の実力を誇るし、俺との連携をとりやすいとおもってな』

『え？何がですか？』

近藤は困っている

『じゃあ次に行きましょうかナズチさん』

『そうだな』

『さて行くか！』

『え！？どこに行くんですか！？？』

近藤が仲間になった

『なんだそういうことだったんですかあゝ早く言って下さいよ』

近藤が説明を受け、安心の声を漏らす間に次の目的地、協会へ到着した

『ナズチさん、ここには誰がいるんだ？』

昌也は興味しんしんできいてくる

『ああ、ここにはな…』

『私だ』

言葉を遮るように現れたのはこの協会の神父、大詠師ユーキだった

『ユーキ、お前の力が必要だ』

『わかっている…』

『流石神父！スコアを読んでこの事を！』

近藤が驚嘆の声をあげた

『先ほど村長が来てグチをこぼしていった』

……

『それで、村長は？』

『先ほどいったらろう“グチをこぼして逝った”と』

メンバーの背筋が凍り付く

『冗談だ』

メンバーの空気が凍り付いた

大詠師ユーキが仲間になった

『よし！大体のメンバーはそろったな』

ケンクがいせいよく言った

『ああ、このメンバーで向かうとする』

『前衛がナズチさんに俺、中距離のケンクさんに、魔術師の近藤…
大詠師のユーキさん…前衛二人に中距離一人、そして後方支援が二人ですか』

と、昌也

『この上ないパーティだな』

ユーキが答える

『ところで最初は誰を倒すんですか？』

近藤の最もらしい質問がナズチに向けられる

『まずは西のグリーンゴブリンからが妥当だな』

西のグリーンゴブリン…近距離、遠距離を得意とするバーバリアンの手先だ

『なら回復薬や雑貨を買っておく必要があるな』

と、ケンクは近くの店を指差した

〔林雑貨〕

『いらっしやいませ』

『ようりんー！』

ナズチが意気揚々と挨拶をかわす

『どうしたんだい？こんな大勢で？』

『いやちよとな』

ナズチは今までの事を話した

『なるほどね〜それじゃあこれを持っていきなよお』

と、リンはカプセルに入った薬を出した

『なんだこれは？』

と、ユーキがつっこむ

『飲んでからのお楽しみだよ〜新製品だからね〜』

『まあ有りがたく受け取っておく』

そして勇者ナズチ一行は買い物をするませ店を出た

そしていよいよ村を出るとき、近藤が呟いた

『いよいよですね…』

『ああ…』

ナズチがかえす

『いくぞ！』

と、ケンク

その時！

『何者だ！？』

昌也が刀を抜き戦闘体制をとった

パーティ全員が身構える

ゆっくりと建物の影から現れたのは青年だった

『き…気をつける…タダ者じゃない』

確かに纏ったオーラが違う

最恐最悪のピンチ！

この謎の青年の正体とは！？

そして新たな仲間が！？

次回に続く！

(後書き)

冒険はこれからだ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7342d/>

テイルズオブミクリヤ～第二章～旅立ち

2010年11月18日15時03分発行